

# ～神の計画～あなたの名前VI 「知恵に満ちた人生」

マルコ 3:13～19

## ■ 神様の知恵 リス

リスは普段、どんぐりや木の実を食べていますが、自分のために冬越しのためにどんぐりを袋に入れ土の中に埋めます。埋めては歩き、埋めては歩きを繰り返す、たくさんのどんぐりを埋めますが、リスは、どこに埋めたかを忘れてしまうのです。リスは、森の拡大者とも呼ばれていて、その埋めたどんぐりを忘れることで、森が育ち、他の動物も、リス自身も生かされているのです。人間にとって、忘れる行為は大きな影響があるように思いますが、神様は、人間に忘れるという機能を与えました。不要なことを都合良く忘れていくようになっていきます。忘れるということができなかつたら大半の人が病気になると言われています。私たちは大事なことを忘れてしまわないように、覚える方法を考え、整理していきます。それを知識として長期記憶していきます。しかし、自然を見ると、忘れることが営みになっていることもあります。私たちは様々なことを考えますが、私たちの知識がどれだけ興味で、多くのものが忘れられた土台の上に、一部の記憶として残っており、それが自分の正しい記憶だと思ってしまうのです。多くの人が蓄えた知恵や知識を、それが共有されて、それによって自分が生かされています。記憶の良い人、悪い人、感性で生きている人、理論で生きている人、それも合わさって、ひとつの体となって保たれています。礼拝は、自分の役割を見つけることができる場所です。そして、自分に無い能力を持った人と共有することができる場所です。私たちは知らない事ばかりですが、私たちは、自分の知識に頼って、判断を自分が下そうと善悪を決めてしまいます。しかし、秩序を見たり、法則を見たり、作られた大自然を見ると、自分の判断が間違っていることに気付くことができます。もう一度、自分の名前の役割を思い返し、今の自分の現状が正しいのか見極める事が出来るのはないでしょうか。

## ■ アルパヨの子ヤコブ

「小ヤコブ」十二使徒の二人目のヤコブで、かかと（だます、押しつける、奪い取る）の意味を持ちます。神はサタン「頭を打ち」砕く。「女と子孫」との間に敵意をおき、いつも誘惑と苦しみと闘いがあります。「アルパヨ」ギリシャ語で深い意味が無いにも関わらず、なぜ、わざわざアルパヨとつけたのでしょうか。創世記のときに、エサウとヤコブの仲違いによって別れた人生から異邦人になっていた人と、イスラエルの人たちが再び、ひとつに合わせる計画を神様は持っておられました。後にエサウとヤコブが和解したように、神様は、求め、願い、奪うものへの融合を与えられます。

## ■ タダイ

注解書によれば「母の胸」という意味を持ちます。「胸、乳房」を意味するダドがこの名前の由来です。聖書では、乳房は知恵を意味しています。教会はキリストの花嫁と聖書に書かれているように、夫が妻を愛するような関係、夫が妻を愛しているがゆえに、妻は夫の思いを知り、神の思いを、また、十字架の思いを、知るようになります。神様の知恵は、イエスキリストとの夫婦関係、信頼関係、礼拝の回復です。「タダイ」の別称「ユダ」ヤード。赤ちゃんは、お腹が減ると、お母さんのお乳を求めます。それと同じように、私たちが神様へ知恵をより求めると、私たちと神様との信頼関係、また、礼拝が回復されて、それによって喜ばない環境があっても感謝し、また信じることができるのではないのでしょうか。

## ■ 熱心党員シモン

「シモン」熱心党ハッカナイ派に属する。熱心党から離れたシモンは、失敗者だった生き方を改め、神様の知恵に生きようと思えられました。熱心党員からも、ねたみ、うらやまれるような存在に変わ

えられました。十二人の弟子、神様が列挙した名前には深い意味があります。私たちもそんな存在のひとりであることが分かります。今日、名前の回復をしようとしています。もう一度、自分に付けられた名前の意味を思い起こしてみてください。

## ■ ひとりの女子高校生の話し

学校の荒れた環境を見て、神様に祈りました。もう学校に行きたくない、行かないと決心したとき、祈りの中で、神様は、彼女の良いところを3つ挙げてくれました。彼女は、神様のしてくれたことを思い返して、学校に行くたびに、ひとりの人に長所を書いたシールを3つ貼り続けていきました。結果、その学校は一瞬にして変わりました。学校の生徒、先生も同じ様なことをしていくようになり、ひとりの社長がそのシールをもらいました。社長は、自分の子供にシールを貼ろうと、寝ようとしている子供の布団をはぐると涙でいっぱい姿を見ました。その子は自殺しようと考えていたのです。お父さんは仕事で忙しく関わることができず、お母さんは悲しみに家で帰らなくなり、その子は痛みの中にいました。そんな中、お父さんは、子供にかけがえない存在だと伝えました。子供は、自分が愛されていたんだと始めて気付いたと語り、ひとりの子どもを救うことが出来ました。このひとりの女性の知恵は、学校だけを変えるだけで終わらず、幼い子供の人生を変えました。意味のないようなことに思える私たちの行為も、そこに神様の計画があります。賛美する行為、礼拝する行為、感謝をする行為、医学的にどれだけ素晴らしいことか、祈りが影響を与えていること、それが神様ではなくて、科学的にも証明されています。それによって多くの人が、癒され、励まされ、向きを変え、知恵によって生かされてきました。知識では理解できない事が、知恵によってなされてきました。自分の知識で生きるのをやめて、神様の知恵を求めていきましょう。

## ■ 最後に

主の永遠の計画、我らの内に、願いの中で実を結んでいきます。自分の願いを持っていますか。願いを神様に向けてください。わからない人には願いがありません。知恵があるからわからない事はありません。私たちが未知に遭遇した時、結果それを知るからです。わからないとき、天を見上げて、主に聞くのです。「I. 輝く日を仰ぐ時、月星ながむるとき、いかずち鳴り渡る時、まことの御神を思う。我が魂、いざ讃えよ、大いなる御神を。II. 森にて鳥の音を聞き、そびゆる山に登り、谷間の流れの声に真の御神を思う。我が魂、いざ讃えよ、大いなる御神を。」神様の計画では、神様の知恵は、その夫婦が愛し合い知ることを通して起こると記されています。これは、後に来る、イエスキリストと、私たちひとりひとり結び合わされる喜びの恵である比喩です。弟子たちは、失敗や仲違いした人生から、後に神様に結び合わされた時、大きな力を得ました。そして、主をも恐れず、生涯を貫きとおし、神様の摂理を理解する人生を生きていきました。私たちは、神様に願いを祈ります。置かれた環境の変化、周りの人たちのことを祈りましょう。そして、自分はどうなりたいですか。神様の計画は、測り知ることができません。恐れず、信じて行動した時、大いなる計画を成し遂げる事が出来ます。私たちは愛されています。愛された人が願う時、神様の永遠の計画は、その願いの中で実を結びます。「君は愛されるため生まれた、君の生涯は愛で満ちている。永遠の神の愛は我らの出会いの中で実を結ぶ、君の存在が私にはどれほど大きな喜びでしょう。君は愛されるため生まれた、今もその愛、受けている」あなたは今、必要とされています。愛されています。大切な存在です。

(要約者:西寄 達也)

(2022年10月23日)